

舞踊教育における鑑賞 (I) — 映像による学習 —

高橋 るみ子

Appreciation in Dance Education (I)

— Learning by Watching VTRs —

Rumiko TAKAHASHI

1. はじめに

松本は、「近代機器と技術の開発が、演の記録と再現、臨場感をもつ鑑賞の機会の再現、演のより詳細な分析による文化特性の比較、また学習の記録や伝承の記録による教育研究など、映像の研究の可能性を拡大させている。映像による研究がこれからの舞踊文化の保存と研究・教育の開発に負う役割は大きい」と述べている(1)。中でも学習の場での「映像を用いての学習研究」の重要性を指摘し、

- ・未だ確かな成果が報告されていない学習者の鑑賞力を観る研究方法
- ・作品研究の資料としてのみでない、創作及び舞踊全般への興味・関心の深まりになるような、教育における新たな映像の活用方法

の二点の提出を今後の研究に求めている(1)。

一方ダンスの学習の場では作品や学習過程などの映像資料が教材としてあふれており、どんな映像をどのように活用すれば「学習の動機づけ」「学習のまとめ」としてこれらの映像をより有効に役立てられるのか、どんな映像をどのように活用すれば生徒にダンス文化をさらに身近なものとして受け止めさせることができるのか、手探りの状態である。

そこで本研究は、すでに学習の動機づけとしての活用と成果が多数報告されている『全日本高校・大学ダンスフェスティバル受賞作品』のVTRを用い、この映像資料が、①学習者の鑑賞力を観る教材としての条件を備えているか ②学習者のダンスへの興味・関心を深める教材であるか を明らかにすることを目的に舞踊の鑑賞学習を設定し、その学習成果を考察するものである。

2. 研究方法

本研究を進めるに先立ち平成元年度より、教育学部の2年生を対象とした保健体育理論(一般科目・必修)の授業において、「VTRによるダンス作品の鑑賞」の授業(90分)を実施し、

学生のダンスの鑑賞力を高め、ダンスへの興味・関心を深める鑑賞学習の方法を探ってきた。これらの実践結果をふまえ平成4年度は、より効果のある鑑賞学習方法の手だてとして作品の成り立ち自体を知らせる②チェックリストを用意し(別紙1参照)、「VTRによるダンス作品の鑑賞」の授業を行った。実施の方法を以下に示す。

実施年月日	平成5年1月28日5・6限(90分)
授業名	保健体育理論 第7次
対象	教育学部 (小学・養護・幼稚園・特音の4課程) 2年生 151名(女子 93名・男子 58名)
実施方法	VTRを鑑賞し、チェックリスト及び作品評価を行う 使用教材 『第5回全日本高校・大学ダンスフェスティバル』受賞作品・大学の部 ※92. 8. 22 NHK教育テレビ放映の録画(70分) ※VTRから学生が受け取る各作品の情報(表1参照) 作品名・大学名(サークル名)・受賞名 作品のテーマ(字幕) アナウンサーと解説者による「作品の解説」 時間配分 <課題①>は各作品ごとに1分 <課題②><課題③>は作品鑑賞後20分

チェックリストの集計結果と、各作品の評価や内省の質的及び量的な分析の結果から、設定した学習の成果を明らかにし、用いた映像資料の教材的な価値を考察する。

3. 結果と考察

各作品の評価文や自由記述の内省分から、学習者の「ダンスの新鮮な体験」「ダンスへの真剣な接近」「ダンスへの興味・関心」「ダンス観の確立・拡大」といった学習成果と、用いた映像資料が持つ「出会いの再現」「新鮮さ・多様さ」「鑑賞力を測る」といった教材的な価値が抽出された。よって上記の7つの観点から考察を進める。

1) 鑑賞学習の成果

1. ダンスの新鮮な体験

評価文や内省文の中で過去のダンス体験に触れている学生は59名(39.1%)であった。その内“創った・踊った経験がある”女子は24名、男子は2名。“こういうダンスを見たことがある”は8名。計34名(57.6%)が、「行なうダンス」あるいは「観るダンス」の体験を述べている。残る25名(42.4%)は、“創った・踊った経験がない”“こういうダンスを見たことがなかった”(18名)など、「行なうダンス」はもちろん「観るダンス」もはじめての体験であっ

た。92名の学生には過去のダンス体験を推測させるような記述は見られなかった。

今回の学習をプラスにとらえている例

“このようなダンスはNHKでもめったにしないのでほとんど目に見ることがない。ほんとうに見てよかった”

“なかなか普通では見ることができないので、こんな機会に見ることができてよかった”

“こんなフェスティバルがあるのか。こんなに身近な人が出ているのに、それも知らなかったなんて。なんとも複雑な感じがした”（以上男子）

“もっと前に見たかった”

“このビデオは1度夏休みに家で見ましたが、こうやって授業で改めて鑑賞という形で見てみるとまた違った感じで見ることができました”

“去年よりも上手になっていると思った。毎年新鮮な気持ちになる”（以上女子）

2. ダンスへの真剣な接近

課題を与えずに鑑賞させた1年目の実践や、鑑賞後の内省の自由記述のみ課した2年目の実践では、鑑賞の際に居眠りをする学生や飽きてしまって私語を交わす学生が目についた。しかし今回は、上記のような学生の姿は見られなかった。内省文からも、学生たちが真剣にダンスの鑑賞に取り組んだことがわかる。

“はじめてじっくり鑑賞してほんとうに感動した”（男子）

“はじめてこうしてダンスをきちんと見ることができた”（女子）

“まるで自分がその会場で審査員をしているかのような感じがした”（女子）

“ダンスの作品を鑑賞するとき、いままでは単に見ているだけでしたが、今回のようにテーマや情調といった点から見るとまた違った見方ができるなあとと思った”

“こういう形式で問題が出されたので、本来なら動きと表情にしか注目できないところが照明・構成・衣装から作品の完成度をみることができた。こういう角度からダンスをみると理解しやすいと思った”

なお今回の課題設定に対し、

“テーマや質を感じるのはひとつだけではないので、ひとつだけ選ぶのは無理”

“選択肢の中に「照明」があるけれど、照明だけでテーマを感じる作品なんてあるんですか”

との指摘もあった。次回の実践の検討事項としたい。

3. ダンスへの興味・関心

記述からダンスへの興味・関心に触れた表現を抽出し整理したところ、学習を通して学習者の興味・関心が高まっていく過程が明らかになった。

“ダンスはわからない” “興味がなかった”

学生は、学習を通して

“感動した”（37名）

“楽しかった、おもしろかった”（29名）

“ダンスについて考えが変わった” (17名)

“新鮮だった” (6名)

“好きになった”

“ダンスがわかった”

と感じ、

“最後まで見たい” “もう一度見たい” “生でぜひ見たい” “会場へ行って見てみたい”

あるいは

“高校生の作品も見たい” “受賞作品以外も見たい” “別のものも見たい”

といった、より詳しい・広い「観るダンス」や、

“自分もやってみたい” (21名)、“自分も出てみたい”

といった「行なうダンス」への願望を述べるに至る。

また、このようなダンスに対する興味や関心は、同世代の演者に対する共感や感動によってもたらされていたことも記述から明らかになった。

“真剣” “一生懸命” (32名)

“ひとつの目標に向かって協力している” (30名)

“楽しそう” “いきいきしている” (21名)

“同世代なのに・・・” (11名)

“気持ちよさそう” (10名)

“うらやましい” (9名)

“自分もがんばろうと思わされた” (13名)

このように148名(98.0%)の学生が、ダンスに対する何らかの興味・関心の高まりを述べている。

4. ダンス観の確立・拡大

山田の「ダンスの特質に触れることによってダンス観が確立され拡大されていく」(3)に着目し、評価文・内省文から「ダンスの特質」の気付きに触れた記述を抽出した。それらを松本の「舞踊運動課題の4つの視点(極限性・多様性・連続性・表現性)(3)に分類した。

結果、内省文からは(表2-1)に示すダンス観(=ダンスの特質)が、各作品の評価文からは(表2-2)に示すダンス観(=ダンスの特質)がそれぞれ抽出され、学習者がさまざまな舞踊現象に気づき、チェックリストで示された作品の成り立ちから「作品の良否を判断しダンスの美を取り出し、作品の意義や価値」(4)を言語で論じていたことが明らかになった。

なお今回の学習では、4つの視点の内、ダンスの「表現性」に対する気づきは多くみられたが、「連続性」に対する気づきはわずかであった(表2-3参照)。これらの偏りは、映像による鑑賞学習で確立・拡大されるダンス観の限界を示していると考えられる。

一方(表2-1、表2-2)の○印は、作品の完成度の高さや舞台効果が望めないダンスの授業における「見せ合い」だけでは、容易に確立・拡大できないダンス観であると思われる。中でも

“感じたものはテーマ以上のものだった。

“からだで表現することは、魂に直接訴えかけるものだと思った”

“ダンスは事物を表現するだけでなく、現代人の抱えている問題などを考えさせる力をもっている。

“動き・音楽・衣装・照明がすべてマッチしていると、とても見やすい、わかりやすい”などは、松本の上演に関する論「動きの総和以上の表現性を読みとる」「作を提出することは自分自身の人間観を差し出すことである」「観る人の心に刻まれて感動を残す」「ダンスの作品は・・・いまときはなせない。いわば個と現代の宣言であろう」「音と融けあい・・・発想に導かれ選択された衣装・小道具や装置に包まれ、あかりによって生命を吹きこまれつつ総合的な表現として出現し作品の個性を確立する」(5)と、内容的な一致をみる。

以上今回の鑑賞が、学習者のダンス観の確立・拡大に予想以上の効果をあげたことが明らかになった。

2) NHK編集『全日本高校・大学ダンスフェスティバル受賞作品』VTR の教材としての価値

1. 演者と観者の出会いの再現

『全日本高校・大学ダンスフェスティバル』（神戸）は全国の多数の高校生・大学生が参加する全国規模のダンス発表会である。松本(富)は、発表会とコミュニケーションについて「舞踊の発表会は“自他のコミュニケーションの場”“自他の感覚世界を通じた交流、演者と観者の絶えざる出会いの中に成立する共感覚の世界”である」と述べている。さらにこの舞踊におけるダンサーと観客とのコミュニケーションを、J.マーチンの「内的模倣」の概念から次のように説明する。「人間の身体は同じ身体の為により激しく反応する。観客は静かに椅子に座っているながら（ダンサーの動きに合わせて）全筋肉を使い、共感をもって踊っている」と(6)。このような「動きによってのみ伝え得る感情世界が存在する」発表会（フェスティバル）で、出演者が自己とむきあい・自身をかけて演じた作品のVTR『全日本高校・大学ダンスフェスティバル受賞作品集』は、鑑賞者に、神戸文化ホールでの演者と観者の出会いを、ダンスフェスティバルの臨場感を再現すると考えられる。

例えば同世代の演者に対し観者（鑑賞した多数の学生）は

“気持ちよさそう” “楽しそう”

と感じ、同時に

“自分も楽しくなった”

“鑑賞中からだが動かしたくなった”

“一緒に踊ってみたいと思った”

と述べ、

“自分も自然とからだが動いたほど”（男子）

と上述の松本(富)が指摘する「静かに椅子に座りながら（ダンサーの動きに合わせて）踊る」「共感覚」の体験を報告する。

ダンスフェスティバルの会場の臨場感についても

“おおっ！と思った”（女子）

“身体からエネルギーが放出されているのが目に見えてきそう”

“あまりの迫力に背すじがゾットした”

“テレビで見ているのにその場にいるように引きこまれた”（男子）

“ダンスを見てこれほど感動したのは初めてのよな気がする”（女子）

といった感想を述べている。

『全日本高校・大学ダンスフェスティバル受賞作品集』のVTRは、学習者に「自他の感覚世界を通じた交流、演者と観者の絶えざる出会いの中に成立する共感覚の世界」(6)を有効に提供する教材であったと受けとめた。

2. 多様で新しい、興味を誘う作品の紹介

今回用いたNKK編集『全日本高校・大学ダンスフェスティバル受賞作品集』のVTRの教材としての価値は多様で新鮮な作品群にも認められる。

例えば、チェックリストの「作品の質」の集計（表4参照）から、今回の作品の多様性を探ると、「厳かな感じ」の作品が2以外は、「躍動的な感じ」「寂しい感じ」「流れるような感じ」「楽しい感じ」とさまざまな質をもつ作品の存在が見えてくる。記述からも多様で新しいダンスへの気づきがみられる。

“ダンスにいろいろな種類があることが改めてわかった”

“作風もさまざま”

“いろいろと学べる”

“ふだん見ないからかもしれないが、ああ！こんな表現もあるのか、こんな動きでこんなふうに見えるのか、と驚きと感動が一緒になったような状態で見終えました”

“思っていたより現代的だった”

“中学・高校と体育の時間に創作ダンスをしたが、今日のビデオを見て、あれは一体何だったんだろうという気にさせられた”

“毎年新しい趣向のダンスが見られる”

また「生き生きした生命感あふれる作品」（日本女子体育連盟賞）から始まり、徐々に盛り上がりを見せ、「主題の展開・構成がすぐれている作品」（NHK賞）、「創作作品として完成度が高い作品」（文部大臣賞）で終わる編集や、字幕で加えられた「テーマ」と対話形式で進められた「解説」が、学習者の興味を誘う一因であったことをうかがわせる記述もみられた。

“一番インパクトがあったのは最初の作品でした。オープニングが最後の作品だったら興味が薄れていたと思います。最後に文部大臣賞の作品がきたときは、さすが（文部大臣賞を受賞する作品だ）とため息がでました”（男子）

“最初ダンスなどどれも似たようなものだろうと思っていた。しかし1番の作品でいきなり目が離せなくなってしまった”（女子）

“『大和蜘蛛蝶』は他の作品を見た後だったので、さすがにうまいと思った”

“テーマを隠されて作品を見せられ、そのテーマを言えといわれても絶対に当てられなかっただろう。テーマが表示されたので興味が持てた”

“解説者も言っていたが私も同感だと思った”

3. 学習者の鑑賞力の測定

松本が指摘する舞踊の鑑賞（評価）の観点（ダンスフェスティバルの審査の観点・評価の基準）に着目し、学習者が、審査員と同じ観点から「作品の良さ」「美しさ」「意味」を受け止めているかを探り、学習者の鑑賞力を推測した。

学生の各作品の評価の内容を、6分類（①すぐれた動きの追求 ②ユニークな発想 ③生き生きした生命力あふれる表現 ④すぐれた主題の展開・構成 ⑤音・音楽・衣装・装置 ⑥創作作品の完成度の高さ）し、ダンスフェスティバルの評価の基準と一致しているかを探った。結果、生き生きした生命力あふれる作品として受賞した作品No.1は、分類③の「生き生きした生命力あふれる表現」についての記述数が39（32.2%）、すぐれた動きの探究に対して受賞した作品No.7は、分類①の「すぐれた動きの探究」についての記述数が19（38.8%）と、他に分類された記述数より多く、それぞれの作品に対する学生の評価は、おおよそダンスフェスティバルの評価の基準と一致していた（表3参照）。

また、雑誌『女子体育』に掲載された各作品の「講評」と学習者の評価の観点を比較したところ、内容的な一致をみた（表3参照）。

同様に、それぞれの「作品の質」の選択理由も、多数の学生がダンスフェスティバルの審査の観点と一致していた（表4参照）。例えば、自作の衣装デザインがすぐれている受賞作品No.5では、「衣装」を選択した学生が101名（68%）、選曲や自作音の工夫で受賞した作品No.6では「音・曲」を選択した学生が47名（31%）、すぐれた動きの探究で受賞した作品No.7では「動き」を選択した学生が77名（51%）、などである。このように、学習者は、“それぞれ違ったところで他の作品に負けないほどのダンスだった” “それぞれの賞に合っていた” と確かな目（鑑賞力）で評価を行っていたことがわかる。

島内が「批評家は、豊かな体験、鋭敏な感受性、本質を読む直観力そして舞踊に関する深い学識をもって舞踊現象を見つめ、作品の良否を判断し、優れた美を取り出し、作品の意義や価値を明らかにする」と述べている(4)。内「豊かな体験」「鋭敏な感受性」「本質を読む直観力」はダンスに限らずさまざまな文化との関わりで獲得される。今回の学習集団は、予想以上に審査員の観点・評価の基準に近い評価（鑑賞力）を示していた。このことは、対象の大学生が、ダンスの経験・舞踊に関する知識の少なさを、ダンス以外の文化との関わりで獲得した知識をもって補っていたためと考えられる。今後、高校生を対象に同様の実践を行い、結果を比較検討したい。

なお今回は、学習集団の鑑賞力を推測するに止まったが、同様に個々の感想文を分析するならば、学習者ひとりひとりの鑑賞力の測定も可能になると思われる。

4. おわりに

以上、学習の場に生きる実践的な映像研究の事例として、NKK編集『第5回全日本高校・大学ダンスフェスティバル受賞作品集』のVTRが、鑑賞の条件を備えた（学習者の創作及び舞踊全般への興味・関心を高める、学習者の鑑賞力を測る）映像資料であることを報告し、学習の場での効果的な活用方法を紹介した。

最後に、わずか70分の鑑賞によって学生が指摘し得たVTRによる鑑賞学習の限界とダンス

教育への要望、ダンス文化に対する疑問等を記して、今後の継続研究の課題としたい。

“画面を通してではなく生で見ることができたら、また違った感想を持ったかもしれない。きっともっとすごい迫力なのではないか” (男子)

“(宮崎大学の作品を) 実際に見たことがあるのだが、ビデオと本物ではやはり断然本物の方がいいと感じた。当たり前のことですが、ビデオと本物ではまったく感じが違うのである。今日見た他の作品も、実際に見るともっと大きな感動があるのではないかと思う” (男子)

“神戸文化ホールの舞台間近で見られてよかった。VTRでもそれなりに感動するのだけれど、舞台全体が見えないのもどかしい”

“VTRはカメラマンの主観が入り込んでいて、画面はそのカメラマンの感性に左右されると思う。カメラマンにダンスの鑑賞力がないのかなと思わせる部分が結構あった。せっかくの作品が台無しになってしまう”

“ぜひ(先生になる)教育学部の人には見てほしい”

“学校の体育の先生はこういうダンスをやれる機会がもっと多くなるように心してもらいたい” (女子)

“創作ダンスを見るのは疲れます。もっと簡潔にして欲しい” (特音課程)

“カットしてあって、全部みなくてもテーマがわかるということは、余計な部分が結構多いということなのですか?”

“創作ダンスはなぜあのように照明を暗くするのですか? せっかくの演技がよく見えません。芸術っぽい作品ほど照明が逆効果だと思いました。(小学校課程美術専修)

“従来の正統的な創作ダンスの音楽には、おどろおどろしいのが多いのはなぜ?” (特音課程)

“音に対して気配りがなかった。ガンガンうるさいものが多い” (特音課程)

“ダンスをこうやってブツブツ切って、つなぎ合わせていいものだとは知らなかった。ダンスも芸術だと思っていたが、よく作者が怒らないと思った” (特音課程)

引用・参考文献

- (1) 松本千代栄 映像による研究 ダンスの教育学1「ダンス教育原論」pp.284-292 1992 徳間書店
- (2) 松本千代栄 舞踊の鑑賞2-作品を創る・観る-「女子体育」30-5 p.64 1998
「鑑賞では・・・よき出会いを可能にする手だての一つとして、分析的な観点も役立つものです。実際、舞踊のように、刻々と時間経過の中に成り立つ作品から、動きの総和以上の表現性を読みとるためには、作品の成り立ち自体を知ることが必要」
- (3) 山田 敦子 学習の成果をとらえる ダンスの教育学1「ダンス教育原論」p.245
- (4) 島内 敏子 批評と評論 同上 p.156
- (5) 松本千代栄 演じる世界と論じる世界 ダンスの教育学5「クラブ活動と上演法」p.5
ダンスと上演 同上 p.7
- (6) 松本 富子 発表会とコミュニケーション 同上 p.251

- 松本千代栄 続・運動の質と感情価－セブンモーティヴズとは(1) 「女子体育」 32-5 p.54
1990
- 安村 清美 自分を生かし、仲間と出会うダンス体験 ダンスの教育学1 「ダンス教育の原論」
p.38
- 松本千代栄 総評 創作コンクール部門 「女子体育」 34-10 p.12 1992
- 松本千代栄 舞踊の構造・機能と要素化Ⅲ－運動の質と感情価－第35回日本体育学会
他

(別紙 1) チェックリスト

第5回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル受賞作品の鑑賞

H. 5. 1. 28

課程 _____ 氏名 _____

- 1 それぞれの作品について『テーマ』、作品のもつ『質』（情調）の2点から作品を評価してください。
回答は記号で記入すること。

- ①あなたはAの項目（エ. を除く）の中の何から作品の『テーマ』を一番強く感じましたか？
②あなたが一番強く感じた作品の『質』（情調）はBの項目のどれに該当しますか？
③上記の②はAの項目の中の何から一番強く感じましたか？

< A >

- (ア) 身体
(イ) 表情
(ウ) 動き
(エ) テーマ
(オ) 構成
(カ) 曲・音
(キ) 衣装
(ク) 照明
(ケ) 小道具・その他

< B >

- (a) 躍動的な感じ or 迫力のある感じ
(b) 冷たい感じ or 鋭い感じ
(c) さりげない感じ or 日常的な感じ
(d) 寂しい感じ or 弱々しい感じ
(e) やわらかい感じ or 流れるような感じ
(f) 軽快な感じ or 楽しい感じ
(g) 重厚な感じ or 神聖な感じ

No.	作 品 名	①	②	③
1	つまり、儒夫も凍ててなわけで（東京女子体育大学）			
2	ノーサイド（愛媛大学モダンダンス部）			
3	心燃えさかるー「地獄変」よりー（群馬大学創作ダンス部）			
4	ぼくらが出会う少年たちへ（宮崎大学保健体育科）			
5	ひとりごとが歩く（岡山大学モダンダンス部）			
6	Innovationー自己革新ー（大東文化大学モダンダンス部）			
7	奔流（日本女子体育大学ダンス部）			
8	熱帯（お茶の水女子大学舞踊教育学科）			
9	大和蜘蛛しゅ蝶（筑波大学ダンス部）			

- 2 一番好きな作品の番号（ ）
理由（できるだけ具体的に）
- 3 大学ダンスフェスティバル受賞作品を鑑賞した感想（できるだけたくさん）

表 1 鑑賞者がVTR（録画）から受け取る作品情報

No.1

①作品名（時間）	『つまり、懦夫も凛々てなわけで』（6' 29"）
②大 学 名	東京女子体育大学ダンス部
③受 賞 名	日本女子体育連盟賞 <生き生きした生命感あふれる表現>
④テーマ（字幕）	懦夫＝臆病者。懦夫であっても凛々とした生き方があっていい。詩人・相田みつをの文章を題材に、懦夫を自分たちの姿ととらえ、自分らしく生きることの大切さを・・・
⑤作品の解説	<p><アナ> イスとラバーカップという小道具の組み合わせがユニークで楽しい。</p> <p><解説者> テーマにふさわしく、生活感のある小道具を用いている。ナチュラルな動きをダイナミックに展開。軽妙なタッチの作品。生き生きした生命感あふれる作品に贈られる賞にふさわしい力作。</p> <p><アナ> 見ていると勇気がわいてくる。 <解説者> 共感がある。</p>

No.2

①作品名（時間）	『ノーサイド』（4' 00"）
②大 学 名	愛媛大学モダンダンス部
③受 賞 名	奨励賞 <準ずる出来栄を奨励する>
④テーマ（字幕）	敵味方を越えて仲間であることを告げる。ノーサイドのホイッスル。その瞬間をめざす選手たちの姿は。

No.3

①作品名（時間）	『心燃えさかる－地獄変より－』（5' 22"）
②大 学 名	群馬大学創作ダンス部
③受 賞 名	神戸市長賞<クロスカルチャーへの新しい試み>
④テーマ（字幕）	何かを犠牲にしても芸術につきすすむ心。芥川龍之介の“地獄変”を題材に、誰でもか胸にひそめている何かを追い求めるところ、その激しさ。
⑤作品の解説	<p><アナ> 芥川龍之介の“地獄変”を題材に何かを求める心を表現。</p> <p><解説者> 文学に取材した心象的表現。男性のソリストとしての活躍が目立つ。ひとりの主役とその心象をクロスによって表現するという作舞。男性の活躍が目立つ。新しい作風を切り拓く力になっている。この作では女性も燃えさかる炎と心の炎をかけ合わせて、群舞をよく生かしている。</p>

No.4

①作品名(時間)	『ぼくらが会おう少年たちへ』 (3' 56")
②大 学 名	宮崎大学保健体育科
③受 賞 名	審査員賞 <将来の可能性を期待できる新鮮さ>
④テーマ(字幕)	教師をめざす僕たち。平均にとらわれず、どんな子どもたちに出会っても一緒に歩いていきたい。
⑤作品の解説	<解説者>保健体育科の学生たちのクラス作品。どんな子どもたちも胸いっぱい抱きかかえて教職に向かっていこうという発想。今までのモダンダンスの作風にこだわらない奔放な取り組みに拍手。 <アナ> ファイトいっぱいのはつらつ先生になる。

No.5

①作品名(時間)	『ひとりごとが歩く』 (4' 04")
②大 学 名	岡山大学モダンダンス部
③受 賞 名	特別賞 <自作の衣装デザイン> <ユニークな発想>
④テーマ(字幕)	ひとりごとは目の口の耳の静かなる進化。情報化社会、飽食日本を奇妙にユーモラスに風刺
⑤作品の解説	<アナ> 目をひく衣装。 <解説者>おもいきった衣装、小道具とも言える大きな布を生かしている。物体舞踊という歴史があるがそんな世界を展開している。 <アナ> 動きが作り出す衣装の変形がおもしろく楽しめる。 <解説者>布の中で体がより誇張されて動いているのを感じるのも興味深い。 <アナ> 一生懸命動かないと伝わってこない。 <解説者>この作のねらった風刺的なねらいと通じている。叫んでも通じないこともある。 <アナ> 布で見えない部分で苦労したところも多い。 <解説者>表現するということは、動きを誇張していくこと。デフォルメをどうするかというのが作品として相手に伝えていくということ。布の使い方の中にそれがよく表れている

No.6

①作品名(時間)	『Innovation-自己革新-』 (3' 49")
②大 学 名	大東文化大学モダンダンス部
③受 賞 名	特別賞 <選曲・自作音の工夫>
④テーマ(字幕)	毎日の単調なリズムに流されることなく、常に自分を高めていく姿。もっと自分を変えられる。
⑤作品の解説	<アナ> 内に秘めたエネルギーを身体いっぱい表現しているのが伝わる。 <解説者>空間を切り拓いていくような動き。モダンダンスならではの動きがすばらしい作品。

No.7

①作品名（時間）	『奔流』（4' 04"）
②大 学 名	日本女子体育大学ダンス部
③受 賞 名	特別賞 <すぐれた動きの探究>
④テーマ（字幕）	激しくほとばしる水しぶき、その姿に自分たちの青春を重ねあわせていく。

No.8

①作品名（時間）	『熱帯』（6' 13"）
②大 学 名	お茶の水女子大学舞踊教育学科
③受 賞 名	NHK賞 <すぐれた主題の展開・構成>
④テーマ（字幕）	熱帯雨林にはさまざまな生物が生きている。その熱帯雨林が滅びゆくことに対する生命エネルギーの訴え。
⑤作品の解説	<p><アナ> 熱帯の生命エネルギーをあのコスチュームの鮮やかな色で表現している作品。</p> <p><講評者> すっぱりと頭を隠したユニークな衣装デザインが生きている。小鳥の声のような音の選択もよい。鳥や生物の写実を生かし、ときには熱帯のむっとするような熱気をも感じさせながら巧みに抽象化している。この感覚的な作品を楽しみながら、見終わっていつか地球の環境問題をも考えを馳せるといった暗意をもっている。</p> <p><アナ> ひとりひとりの動きを見ているといろいろな生き物に見えてくる。</p> <p><講評者> 具象と抽象は創作にとって大変重要な条件。どこで生かしながらどこを捨てていくか何かを付け足すのではなく無駄を省く。大学生の作品は抽象化がうまくなされている</p>

No.9

①作品名（時間）	『大和蜘蛛蝶』（6' 32"）
②大 学 名	筑波大学ダンス部
③受 賞 名	文部大臣賞 <作品の完成度の高さ>
④テーマ（字幕）	蝶は無垢なものの象徴。現代の暗く汚い世界に、新しく美しいものが創世することの願い。
⑤作品の解説	<p><アナ> 尺八とか太鼓とか日本の伝統的な音色を取り入れた作品。</p> <p><講評者> 静謐な尺八の音とか、作品のはじめにふっと動きを抑えて保つ動きを持続していた。この後ビートのきいたダウンで動きを追い込んでいく。作品の全体構造としては時間的な刻みを上手に生かすというのは大変大切なこと。この作品はとても巧みに追い上げてラストの新しい生命の誕生につないでいく。堂々とした力作。</p>

表 2 ダンス観の確立・拡大とダンスの特質(1) -感想文からの抜粋-

極 限 性	<p>身体の知覚</p> <p>運動技術の習得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのび踊っている。 ・見せることを意識して大きな動きに変えて表現している。 ・動きが速い。 ・無駄な動きがない。 ・きめるところはしっかり決めている。 ・激しい動きなのに疲れた様子が見えない。 ・疲れているはずなのに顔に出さない。 ・ばらばらに動いていてもまとまっている。 ・一体感が伝わってくる。 ・技術の高い作品ほど難しい動きをそろえていた。 ○（テクニック）のレベルが高いと自然な感じで動ける。 ○技術があっても興味をそそられないダンスもある。 ・（専門を考えると）そんなに上手だとは思えない。 ・大学生の技術レベルはこの程度か。
多 様 性	<p>自己実現</p> <p>独自性</p> <p>新鮮さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスをしている人の表情が魅力的、楽しそう、充実感が伝わる。 ○心のあるダンスは、演じる誰もがテーマを訴えかけようとしている。 ・ダンスにはナルシズムのようなものがある。 ・いろいろな種類のダンスがある。 ○作風もさまざま。 ・作品名もおもしろい。 ・どの作品も個性的。 ○大学によって目立つカラーがある、指導者の影響が感じられる。 ・日常あまり気につけないこともダンスにすると何かすごいことになる。 ○どの作品も違った面で他の作品に負けないダンスだった（それぞれの賞に合っていた） ・男性が多数混じっているのが新鮮、そして男子がいる作品といない作品では雰囲気は全然違う。 ○日本の舞いや踊りのないものは何故？
連 続 性	<p>急変性</p> <p>流動性</p> <p>起伏性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッと表情を変えられるとドキッとする。 ○動きの先が見えてしまうとおもしろくない。 ・意外性のない動きが続くとおもしろくない。 ○どの作品も動と静が繰り返されて作品が成り立っている。 ○文章と一緒に「起」「承」「転」「結」に分かれているような気がした。
表 現 性		<ul style="list-style-type: none"> ○ダンスには独特の「表現言語」がある。 ○ダンスには目に見えないものも表わしている。 ・いろいろなものが表現できる。 ・一つ一つの微細な動きにも意味がある。 ○ダンスは事物を表現するだけでなく、現代人の抱えている問題などを、動きや表情を使って考えさせる力を持っている。 ○体育のイメージにつながっていたダンスが、芸術的で心理的な部分を持っていたことに気づいた。 ・音楽と共通。 ・人間のからだであれだけのものが表現できて伝わるものか。 ・人間の動きには機械にはないすばらしいもの（表現性）がある。

<p>表</p>	<p>運動の質 (運動とイメージ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間は言葉など必要ないのではと思った。 ○言葉以上の伝達性がある。 ○からだで表現することは、魂に直接訴えかけるものだった。 ○どれだけ相手に伝えようとするかが作品の善し悪しを決める。 ・見る人を自分たちの世界にどっぷりひたらせる凄さ。 ○自分の感覚で読みとればいろいろな見方ができて楽しい。 ・難しい作品もあったが、誰が見てもよくわかる作品が結局はいい作品なのだった。 ・テーマを知らされなければ、動きだけでは絶対にわからない。 ・音と衣装がなければ、動きだけでは絶対に解釈できない。 ・中学・高校時代の創作ダンスに比べると全体的にモダンな感じ。 ・どの作品もナチュラル、美しい。 ・明るく元気な作品は熱心さが伝わってきた。 ・動きが地味でおとなしい作品には深みを感じられた。 ・重いテーマは踊っているよりも演じている感じがした。 ・男性のダンスは力強く迫力がある。 ・男性が加わると女性の“女らしさ”が強調されて全体に味わい深いものになる。 ○そろっている動きよりもそれぞれに自分を表現するシーンのほうが生き生きと感じられる。
<p>現</p>	<p>表現方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの作品にはいくつかの情調が含まれている、ひとつに決められない。 ・具体的にわかりやすく表現してあるもの、テーマを抽象的にとらえて創っているものなどさまざまな表現方法がある。 ・人の固まりがこれほど何かを訴えるとは。 ・ひとりひとりの動きが大切。 ○ダンスもひとつのチームプレーだ。 ・作品に合った、場面に合った表情がとても大切。 ・普段の生活のなにげない動きがとり入れられている。
<p>性</p>	<p>まとめ方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○抽象的な表現だからこそ真実を映し出している、底が深い。 ・衣装や曲や照明などの全体の調和によって訴えかける力が生まれる、インパクトのあるメッセージができあがる。 ○曲と動きのバランスが難しい。 ・動きよりも曲や音に作品が左右されている。 ○音楽にとっても気を使っていた。 ・音はよくても動きからもうひとつ伝わってくるものがない。 ○凝った衣装よりもシンプル衣装の方がかえって表現力を増す。 ・小道具がどれもテーマに合っていた。

表 2 ダンス観の確立・拡大とダンスの特質(2) - 評価文からの抜粋 -

極 限 性	<p>身体の知覚</p> <p>運動技術の習得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさに動いている ・大胆な動きは見ていておもしろい ・身体をのびのび使うのを見るのは気持ちがいい ・全員が観客には見えないかもしれないのに表情をつくっていてびっくりした ・表情がよく使われているのにびっくりした ・ダンスに表情は関係ないと思っていたが、感情をこめて表情をつくるとそれがダンスの表現に関係するようだ ・倒れていくときの細かい表現などはダンスならではの動き ・踊っている人の顔がみな似ているように見えてくる ○静止は動いているよりパワーを感じる ・スポーツをダンスで表現するのは同じからだを動かすことでも難しい ・内部から発せられると動きのパワーはオシャレで斬新になる ○同じ動きなのに演じている人の個性が加わると同一の動きに見えない
多 様 性	<p>自己実現</p> <p>独自性</p> <p>新鮮さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そろった動きよりもその人なりに動く動きに好感がもてる ○本人たちは意識していないようだが、自分自身が自然に表現されている。 ・友だちの一生懸命な演技を見て、彼等の違った一面を見たような気がする。 ・テクニック等なくても気持ちの入れようですばらしい作品に上げることができる ○技術がなくてもどうしても伝えたいと努力すれば技術のあるチームにひけをとらない作品ができる ・最初ダンスはどれも似たようなものだと思っていた ・流れるようなダンスといったイメージがこわされた ・発想がダンスらしくないところがよかった ○体育科の学生のダンスには完璧なダンスを踊る人たちにはない何かがある ・身体が見えないダンスを初めて見た ・ダンスでもジャングルや動物がテーマになる ・テーマが社会問題に関係していたのも印象的な要因のひとつだ ・いままで小道具は布ぐらいと思っていた ・お世辞にも着てみたい衣装ではないが、そういう衣装だからこそかえて目をひくのだと思った
連 続 性	<p>急変性</p> <p>流動性</p> <p>起伏性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「動」と「静」の動きがはっきりしていると作品全体がしまって見える ・展開にスピードがあるダンスは楽しい ・一瞬動きや音が止まるとドキッとして効果的 ・次が予測できない動きは目が離せない ○群になったときの密な部分と粗の部分の移動が作品に流動性を生む ・曲のテンポの変化をうまくつかんで作品の流れにしていた ・試合の流れもダンスのストーリーとして使える ○構成にも流れやスピードがあり（テーマにあっていると）ひきこまれる
表 現 性	<p>運動の質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題名を見てもテーマを読んでもよく理解できなかったがダンスを見るとなんとなくわかる ・具体的でないテーマがダンスを通して伝わった ・飽きずに見られたのはテーマが具体的だったから ・身近な題材を扱っていたのでわかりやすかった ○文字を読むことだけでなくダンスを見ることによっても人間をみつめることができる ・表情がなくてもテーマは充分伝わる ・このテーマは表情では表現できない ○感じられたものはテーマ以上のものだった ○動物が形としてではなく表現として伝わった

表	<p>(運動とイメージ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・抑えた動きでもダイナミックさが出ている ・流れる動きはやわらかい感じがする ○女性らしい優しいなめらかな動きであるのにどこか冷たく鋭い感じがした ・さりげない動きでも日常の感じとは違った感じを出せるものだった ・女性だけでも力強さや躍動感が出る ○力強く鋭い動きはきれい ・力強い動きの中にも柔らかな自然なものがありその動きが生き物を感じさせた ・一つ一つはおかしな動きも全体で見るとまとまっていて美しい ・なにげない動きが布を通すととても奇妙で楽しい動きに変わる ○沈黙も何かを感じさせる ・ダンスでも芥川の作品がもつ「苦痛」を出せていた ○寝た衣装や音楽ではなくダンスで一番大事なのはテーマを表現することだと思った ○題名を知らなくても見ているとテーマがわかる作品は動きからはっきり作品の意図がわかる ・題名とその題名からは想像もできない出だしの動きが目を離せなくした ・このテーマを体育科らしくスポーツから表現していたがこれはこのテーマを表す単にひとつの方法である ・普段自分たちが使っているような動きでも訴えることができる ○動物のマネをそのまましているのではなく動物の動きをダンスの動きにしていた ・テーマを見ただけではピンとこなかったが表情が生き生きと変わったのでテーマが感じられた ・はじめは音から、だんだん動きのほうにテーマを感じた ・固まったり散らばったり渦を巻いたり、奔流が抽象化されていた ・からだが見えないことでよけいに動きがはっきり伝わってくる感じがした ・すっぱりからだを覆うことにより個性がないただの物体に見せていた
	現	<p>表現方法</p>
性		<p>まとめ方</p>

表 2 ダンス観の確立・拡大とダンスの特質(3)

作品番号 ダンスの特質		各作品の評価文(実数)									感想文	小計	合計
		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9			
極限性	身体の表現	3	1		2				2	1	3	12	27
	運動技術の習得		1						1		8	10	
	その他				1				1		3	5	
多様性	自己表現				4						5	9	30
	独自性	1	1		1						7	10	
	新鮮さ	1				1			3		3	8	
	その他								2		1	3	
連続性	急変性				1				1		3	5	11
	流動性							1				1	
	起伏性	1	1								2	4	
	その他							1				1	
表現性	運動の質	2		1			1	2	4		9	19	99
	表現方法				3	5	1	2	6		7	24	
	まとめ方	3	2	2		1	2	1	7	1	8	27	
	その他	1	2	2	1	1	2		2		18	29	
合計		12	8	5	13	8	6	7	29	2	77	167	167

表 3 作品の評価文の分析(1)

n=23

作品名	『つまり、懦夫も凛々てなわけで』 (生き生きとした生命力あふれる作品)	121
①すぐれた動きの探究	<ul style="list-style-type: none"> ・動きがおもしろい (5) ・みな動きがまとまっている/そろっている (4) ・動きが速い (3) ・全身でテーマを表現していた (3) ・動きが大きくて見やすい (2) ・曲のテンポをよくつかんでいた (2) <p>からだがやわらかい 手足が真っ直ぐ伸びている 上半身の動きが印象深い ジャンプが高い 動きに静と動があつていい 軽やか ダイナミック おもいっきり踊っていた 動きがいい 動きが確か</p>	29
②ユニークな発想	<ul style="list-style-type: none"> ・小道具がユニーク/趣向をこらしている (7) ・題名に興味をもった、タイトルの付け方がユニーク (4) <p>おもしろいテーマ 衣装がユニーク (パカボンのパパを思い出した)</p>	14
③生き生きとした生命力あふれる表現	<ul style="list-style-type: none"> ・表現が豊か、いい、引きつけられた、みとれた (12) ・表情にテーマがよく表現されていた (5) ・ひとりひとりが一生懸命、怖いと感じるほど真剣 (4) ・見ているだけで元気が出る/楽しくなる (5) ・楽しそうに踊っている、ダンスが好きそう (4) ・心が温かくなった、気持ちがいい (3) ・自分らしいさが出ていた (2) <p>元気がある 目が輝いていた 表情がつくりものでなく本物だった 表情が個性的</p>	39
④すぐれた主題の展開と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・題名とかけ離れた出だして目が離せなくなった、見ていて飽きない (5) ・テーマがじわじわと伝わってくる、見ているとわかる (5) ・テーマが一番わかりやすかった (3) <p>とばけた表情から最後は表現にさすがさを感じた メリハリがある 凝っている 舞台いっぱいを使っている</p>	16
⑤音 音楽 衣装 装置	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマが小道具にも現れている (3) ・曲が動きや作品の感じに合っていた (2) ・自分のからだがつい動きださそうなりのよい音楽、リズムカルな音楽 (2) <p>ありふれた曲 シンプルな衣装 小道具がおもしろい 小道具をからだの一部のように使っていた 小道具が効果的</p>	12
⑥作品の完成度	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい (3) ・鳥肌がたった (2) ・一番印象に残った (2) <p>共感できた 一緒に踊ってみたいとなった 満足できた すばらしい</p>	11
<p>『女子体育』の講評 よく訓練したハリのある身体、多くの人数で、アイデアのある小道具、衣装をとり込み、しゃれたパンチある表現を実現。「凛々」という響きの良い、しかし難しい題の解釈を、緩急自在の動きで、さわやかに示した。</p>		

表 3 作品の評価文の分析(2)

n=19

作品名	『ノーザイド』 (準ずる出来栄を奨励する)	95
①すぐれた動きの探究	<ul style="list-style-type: none"> ・軽やか (3) ・スポーツの動きをダンスにしている/抽象化している、スクラムの動きにもダンスが混ざる、飛ばされる動きもダンスになっている (5) ・テンポのよい曲に合っていた、かっこいい流行のダンス (LLやインペリアルのようなダンス) (2) <p>からだ中で表現していた 動きがよく見えた ラグビーの動きなのでわかりやすい テーマに合っていた 表現が細かい</p>	16
②ユニークな発想	<ul style="list-style-type: none"> ・まるでラグビーをしているよう、ダンスらしくない (7) ・テーマが他の作品と違う、新鮮な発想 (3) 	10
③生き生きとした生命力あふれる表現	<ul style="list-style-type: none"> ・元気、若さのエネルギーを感じる (6) ・躍動的、迫力がある (3) ・表情が生き生き/豊か (3) ・一人一人が楽しそう (2) ・さわやかな感じ (2) <p>明るい 一生懸命にやっている 目立たない役割の人も生き生きとしていた 大学生と いった感じ 意志のこもった顔が印象的</p>	21
④すぐれた主題の展開と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマが具体的でわかりやすい、ラグビーの様子がよくわかった (8) ・流れがよく考えてある、試合の流れをストーリーにしている、飽きない、おもしろい、最後にちゃんと結末がある (8) ・勝ったチームと負けたチームの動きを対称的に表現していた (3) ・ラストの表情がよい (2) <p>試合後の様子まで目に浮かぶ 作品名と内容が一致していた</p>	23
⑤音楽衣装装置	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム感がある、軽快、テンポが速い (5) ・今風のかっこいい曲、のりがいい、見ているこちらにも動き出したくなる曲 (4) ・ボールをうまく使っていた (3) ・作品のテーマ/印象にマッチしていた (2) <p>迫力のある曲 題名どおりの衣装 2色のユニフォームの色どりが美しい 衣装に若さを感じる</p>	18
⑥創作作品の完成度の高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかるのでおもしろい (3) <p>すばい動きもピッタリ合っている 一見無造作な動きもしっかり役割が決まっているようだった 感動的瞬間が伝わった 一緒に踊りたい</p>	7
<p>『女子体育』の講評</p> <p>舞台上に生のラグビーの試合を見ている感じ。スポーツの中で行なわれる競技的な運動がリズムを伴い空間を構成し、見事にダンスの世界への運動へと変身していった。会場からの拍手を誘うダイナミックさとダンサーの情熱に拍手。</p>		

表 3 作品の評価文の分析(3)

n=6

作品名	『心燃えさかる－地獄変より－』（クロスカルチャーへの新しい試み）	34
①すぐれた動きの探究	動きがバレエ的 力強さ／不気味さ／冷たさが伝わった 技術が高い	2
②ユニークな発想	・男性が中心になっていた／多かった（2） 燃えさかる心が独創的に表現されている お経のような曲を使ったのが新鮮	4
③生き生きとした生命力あふれる表現	パワー 必死に踊っていた、真剣 表情に深みがあった 強く訴えようとしていた まじめだからなんとなく好き	6
④すぐれた主題の展開と構成	・テーマが徐々に／ひしひしと伝わった（3） 沈黙の中に何かを感じられた 全体的に重厚 ソロの存在感があった 統一感がある	7
⑤音楽衣装装置	重々しい音楽にひかれた 音楽からテーマが伝わる イメージどおりの衣装 衣装から力強さ・不気味さが伝わった 衣装と照明があっていた 照明が効果的 光と音の使い方がうまい	7
⑥創作作品の完成度の高さ	・背筋がゾクゾクした、胸がしめつけられた（3） 共感できる部分が多い 内容が濃い 芥川作品と共通する苦痛が感じられた ダンスを見ることによっても人間をみつめることができることを教えてくれた 美しい心をうまく表現したすばらしい作品 見事 テーマ／動き／構成／曲／照明がどんぴしゃりとハマっていた	8
『女子体育』の講評 個や群の動きが調和し空間を拡げて見せている。燃えさかる心燃えさかる炎を朱の衣が鮮やかに描く男女が互いを生かし造形していくのが良い。舞踊の展開からは最後に至る必然が見えにくいように思った。		

表 3 作品の評価文の分析(4)

n=24

作品名	『僕らが出会う少年たちへ』 (将来の可能性を期待できる新鮮さ)	96
①すぐれた動きの探究	<ul style="list-style-type: none"> ・意識しない自然な動き、普段の動きがよかった (4) ・身体をのびのびと使っていた (3) ・軽快 (2) <p>ランナーの走りがよかった スピードがあった ロボット的な動きに引きつけられた動きがはっきりしていてわかりやすい 表情をよく使っていてびっくりした その人なりの動きに好感を持った 動きに工夫が感じられた テーマと曲に合っていた</p>	17
②ユニークな発想	<ul style="list-style-type: none"> ・さすがが体育科、ダンスの型にはまらない、ダンス部にはない何かがある (6) ・他の作品にない発想/動き、他の作品とは違った味、新鮮 (5) <p>素人 構成がユニーク</p>	13
③生き生きとした生命力あふれる表現	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみがもてた、身近に感じられた (3) ・生き生きとした表情/動き、笑顔 (2) ・大学生らしく若々しい、はつらつ、元気、明るい (6) ・躍動的、迫力があつた (2) ・若者らしくすがすがしい、気持ちいい (2) <p>よく知っている人の表情がいつもと違って感じた 友人の違った一面が見られた その人なりの一生懸命が伝わった 必死 気持ちが入っていた 技術がなくても伝えようと努力していた 生身の人間のダンスだった</p>	22
④すぐれた主題の展開と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・訴えたいことがわかる、テーマを適格に表現していた (9) ・前半と後半があつて楽しめた (4) ・飽きなかった、どんどん期待がふくらむような作品 (2) <p>さまざまな子どもたちを衣装と動きで表していた、音より動きで構成していた 舞台を広く使っていたので動きが大きく見えた 子どもと楽しくスポーツをしている様子が想像できた</p>	19
⑤音楽衣装装置	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽がテーマに合つて明るかった、しゃきしゃきしていた (3) ・衣装変えがあつて楽しい、いろいろな衣装がおもしろい (4) ・体育科らしい/身近な/凝っていない衣装 (3) <p>衣装がテーマにマッチしていた 明暗をうまく使っていた</p>	12
⑥創作作品の完成度	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ立場なので共感できた、先生になりたいと思わせる作品 (5) ・楽しめた (4) ・感動した、がんばろうという気持ちになる (4) 	13
<p>『女子体育』の講評</p> <p>“ティーチャー”の絶叫と体当たりのパフォーマンスの発散するエネルギーで観客の心を捉え、圧倒してしまった。作品の枠に囚われずに、自由奔放に熱い思いをぶつけることで成功した、体育専攻学生ならではの作品。</p>		

表 3 作品の評価文の分析(5)

n=16

作品名	『ひとりごとがあるく』 (自作の衣装デザイン・ユニークな発想)	64
①すぐれた動きの探究	<ul style="list-style-type: none"> ・からだが見えないことで余計にはっきり動きを伝えていた、もぞもぞ、じたばた (4) ・身体をいっぱいに使って布を変形させて (2) ・テーマに合っていた／伝わった (2) <p>布の波のような動きがきれい 柔らかな中にも躍動感があった 何気ない動きが奇妙で楽しい動きになった 無気味さ、悲しさを感じさせる動き</p>	12
②ユニークな発想	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装が変わっている／おもしろい (8) ・テーマがおもしろい (4) ・初めて身体がみえないダンスを見た (2) <p>奇妙なダンスだった 他の作品と発想が違う 他の作品と構成が違った</p>	17
③生き生きとした生命力あふれる表現	<p>一生懸命に動いていた</p>	1
④すぐれた主題の展開と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・表情がなくても布の動きからテーマが伝わった (5) ・明確な主張を端的に表していた (3) ・最後が印象的 (2) <p>現代を抽象的に表している 構成がすばらしい 次はどんなふう衣装を使うのだろうか楽しんだ</p>	13
⑤音楽衣装装置	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装の効果に引きこまれた、衣装のわずかな変化で千差万別の形を見せていた (7) ・衣装がテーマをうまく表現していた、衣装が個性を隠していた／固体を識別できなくさせていた (4) ・曲からテーマが伝わった (2) <p>曲と照明が動きを無気味に見せていた シルエットの使い方が上手 ラストは暗がりて照らされることによって「ひとりごと」がブルブル震えているように感じた</p>	16
⑥創作作品の完成度の高さ	<p>胸うつものがあった 助けてあげたくなった 表情では表現できない表現になった おもしろい くすぐったくなるようなダンス</p>	5
<p>『女子体育』の講評</p> <p>カニングハムとグラハムを思い出した。衣装のアイデアと使い方が効果的。瞬間的に無気味さを漂わせ次の瞬間美しい線を見せ、さまざまな様相がテーマを強調していた。エンディングはカラフルな色を期待したのだが</p> <p>・・・</p>		

表 3 作品の評価文の分析(6)

n=10

作品名	『Innovation-自己革新-』 (選曲・自作音の工夫)	51
①すぐれた動きの探究	<ul style="list-style-type: none"> ・きびきびしている/きれのよい/すばやい動き (3) リズムカルで力強いダンス からだ全体で表現している 表情がダンスによく合っている (しかめっ面は暗い感じ/さみしい感じ、明るい顔はエネルギーを発散している感じ) 意志が感じられる動き さりげない動き 	8
②ユニークな発想	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代がもっている永遠のテーマ さりげない日常の姿を違ったものに見せていた 	2
③生き生きとした生命力あふれる表現	<ul style="list-style-type: none"> ・表情が素敵/すばらしい/生き生きとしている、吸い込まれそうな目 (6) ・身体からエネルギーが放出されているのが目に見えてきそう、パワフル、生き生き (3) ・さわやか (2) 踊っている自分に満足しているような表情 勇気がわいてきた 元氣一杯になれそう 	14
④すぐれた主題の展開と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的でないテーマがダンスによって、動きのひとつひとつから伝わってきた (4) 始めは少し静かで最後は躍動的な感じがテーマに合っていた 表情の変化 (暗い/寂しい/しかめっつら→明るい/目が輝いて) でテーマが伝わった 	6
⑤音楽衣装装置	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き慣れている音や電話の音が日常的な印象を与えていた (2) ・アフリカの黒人音楽のような曲がよかった (2) バックに流れる民族的な太鼓の音と鋭いエレキギターの音が神聖な感じを強調していた 衣装のシンプルさがかえって踊っている人の表情を強調していた 真っ白な衣装が神聖な感じを強調していた 横から太陽と思われる光がさしていたところが特によかった 黒に近い青からだんだん明るくなる照明がよかった 衣装と照明に好感をもった 音と衣装と照明がダンスを支えていた 	11
⑥創作作品の完成度の高さ	<ul style="list-style-type: none"> 自分も変わることができると思わせてくれた (3) 訴える力があった (2) テーマがダンスを見て一層強く感じられた テーマの枠に収まりきらないものを感じた 芸術的 すばらしかった トリップさせられた 	10
<p>『女子体育』の講評</p> <p>エネルギー溢れたダイナミックな動きから、作者らの視点や息吹が十分に伝わった。若者たちの外連味のないハートは、シンプルなビートやモノトーンの衣装からも窺え、清々しい表現空間をつくりだしていた。</p>		

表 3 作品の評価文の分析(7)

n=11

作品名	『奔流』（すぐれた動きの探究）	49
①すぐれた動きの探究	<ul style="list-style-type: none"> ・女性らしく優しく滑らか、女性の特質（優しさ／柔軟性／清らかさ）を生かしていた（4） ・身体を無理なく自然に使っていた、よく慣らされた身のこなし、巧み（3） ・奔流を抽象化（固まったり散らばったり／渦をまいたり）（2） ・バレエを踊っているような動きが作品にマッチしていた（2） <p>手足はもちろん全身を活用している 細かくて軽快なステップ シャープ スピード感あふれた動き 無駄のない動き バラエティーにとんだ動き 統一されていた 人的迫力があつた</p>	19
②ユニークな発想	かえてこういった古臭いダンスは心が安まる	1
③生き生きとした生命力あふる表現	<ul style="list-style-type: none"> ・生き生きしている（2） 表情が豊か 	3
④すぐれた主題の展開と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・絶え間なく流れていく表現が、構成がよい（3） ・何を表現しているかがわかる作品（2） ・群れの移動で流動的に見せていた、みんながそれぞれの位置をしっかり守って踊っているので人数が多くてもすっきり流れるように見えた モダンにまとめていた スピーディーな構成 川の流れの大小が繰り返されていた 途中のピラミッドから若い精神の高揚が感じられた ラストの渦はテーマが感じられた 	12
⑤音楽衣装装置	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装がテーマに合っていた（水色／透明感／きれい）（5） ・不協和音がなかなか合っていた、効果的、ピアノの音色がよかった（3） 衣装がヒラヒラ動くことが手伝ってイメージがぐんぐん伝わってきた 淡いブルーに照明の光が反射して一瞬海の中の光景かと思うほど 照明の青とダンスがよく合っていた 青い照明から「水」「青春」といったテーマがよく理解できた 	12
⑥創作作品の完成度の高さ	<ul style="list-style-type: none"> 美しくきれい、なぜか冷たく鋭い感じ 無駄がなくまとめていた 	2
<p>『女子体育』の講評</p> <p>激しくほとばしる水しぶきに今生きている若者の気持ちを同化させた作品。水の流れがスピーディーな動きと衣装の線により効果的に表現されていた。踊り手の洗練された技術は目を見はるものがある。構成に一工夫ほしい。</p>		

表 3 作品の評価文の分析(8)

n=40

作品名	『熱帯』 (すぐれた主題の展開・構成)	167
①すぐれた動きの探究	<ul style="list-style-type: none"> ・テクニックがすごい、動きが速い／きれいがいい／細かい／メリハリがある、表現がきれいな(6) ・動物のまねをそのまましていない、上手(4) ・力強い動き(3) ・鋭い動き(3) ・動きを工夫している(3) ・表情の作り方が動きとマッチしている、さまざまな動きに合わせて表情を変えている(3) ・体全体を使っている、手首や指や爪先まで使っていた(2) ・動きが大きい(2) ・いろいろな動きがある(2) ・微妙な動きがおもしろい(2) ・重い／抑えた動き(2) かわいい うっとうしい テーマに合っている 	35
②ユニークな発想	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装が珍しい／個性的、タイツの色が違うのがユニーク(8) ・動きが変わっている、予測もできないユニークな動き(4) ・全く違ったダンス、最も個性的、目をひく、ありふれていない(4) ・オリジナリティにあふれた曲(3) 内部から発せられるパワーがとことんおしゃれで斬新 	20
③生き生きとした生命力あふれる表現	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯の生命エネルギーがどんどんあふれてくるようだった(3) ・躍動的(3) ・表現力が豊か、表情がいい(3) 迫力がある、凄味がある(3) 訴えるものがある 大地の叫びが聞こえる 本物のように見えた 本当に暑い 	16
④すぐれた主題の展開と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・飽きない、次に何が来るのか興味がわく、意表をつかれる(7) ・動きの演出が見事(6) 動と静の動きがはっきりしていて作品全体がしまっていて見えた さまざまな動きをきれいにまとめて無駄がない 顔を重ねて動きが一瞬止まったときドキッとした 一列の動きに迫力を感じた 生物の動きを強調する部分と生物が絶滅しそうな部分とでは曲／照明／表情をはっきり変えていた ・さまざまな生物が熱帯の中でうごめいている様子が展開された(4) ・動物が形としてではなく表現として伝わった(4) ・構成がおもしろい、(群から群への)人の処理がすばやくスムーズ、ステージをうまく使っている(4) ・写実的な動きと抽象的な動きのコントラストがよい、そのものを表現する場面やイメージ化して表現する場面があっおもしろい(2) ・群がテーマ(けっして一人では生きていけない)を表現していた(2) テーマをまず音で次に動きで感じさせた ラストは反語的に強くテーマを訴えていた ずっとジャングルの雰囲気をかもしだしていた 	32
⑤音音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の鳴き声、生物の息づかい、リアルな音、いろいろな動物を感じさせる音(8) ・音がいい／魅力的(8) ・いかにも熱帯といった感じの曲、会場全体を熱帯一色に包み込む感じがする音楽(4) 打楽器の重厚な音 豊かな音 躍動感と生命力そしてどこかコミカルな感じがする音 	

衣装装置	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い衣装が鮮やか、熱帯の植物の色、原色が目を引いた（12） ・衣装がいい／凝っている／印象的（9） ・衣装が人間らしさをなくしていた（2） スカートの部分で熱帯のガラガラした熱さを表現していた はじめに衣装を見て期待がもてた かわいらしい衣装と熱帯の動物とのアンバランスがおもしろい	49
⑥創作作品の完成度の高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装／音楽／動き／表情がマッチしていて見やすい、わかりやすい（3） ・きれいにそろっている、まとまっている（2） 絵になる作品 芸術 レベルの高い作品 すべての感覚を楽しませる作品 すべてがメッセージのようで感動した 心にスーッと入ってくる 自然の訴えが耳にことばとして響いた 女子だけでも力強さや信念が伝わった 感動して鳥肌がたった 一緒に踊ってみたい	15
『女子体育』の講評 斬新なアイデア見事！原色の衣装とはぎれのよい動き、音楽がハーモナイズされ熱帯に繁茂する木や小鳥がオーバーラップされた。消滅の危機にある大自然。消してはいけない。エコロジー的視線からの作品と見た。		

表 3 作品の評価文の分析(9)

n=2

作品名	『大和蜘蛛蝶』（創作作品の完成度の高さ）	16
①すぐれた動きの探究	静止しているほうが動いているよりパワーを感じた 重厚な感じ ピンとはりつめた感じの動き 動きがバレエのよう 踊っているというより演じているように見えた 建前と本音が見えた（テクニックが見え見えではない）	6
④すぐれた主題の展開と構成	変化（ゆっくり、流れる）にとんでいた ひきしまっていた ラストの蝶の誕生する部分は印象的 見てわかるのではなく見ているうちに心に何か芽生えてくる作品	4
⑤音楽衣装装置	渋い曲 音楽の使い方がいい 照明の使い方が神秘さを強調している 青い照明で人が緑がかって見え銅像のようだった	4
⑥創作作品の完成度	さすがにうまいと思った 純粹にダンスをしていた	2
『女子体育』の講評 奥深い山中で乱舞する蝶の群れ。そして新たな生命が生まれる。自然の偉大さと神秘が感じられた作品。手首の繊細な動きに蝶の羽を連想させるあたり見事という他はない。モチーフ、構成、音楽すべてに完成度が高い。		

表 4 作品の質（情調）

作 品 作品の質		① つまり、懦夫も凛々 てなわけで(n=149)			② ノーサイド (n=150)			③ 心燃えさかるー「地 獄変」より(n=147)			④ ぼくらが会おう少年 たちへ (n=147)			
		W n=92	H n=57	Total	W n=93	H n=57	Total	W n=90	H n=57	Total	W n=90	H n=57	Total	
“躍動的な”	実 数	41	18	59	64	43	107	1	1	2	20	17	37	
	抽出頻度	0.45	0.32	0.40	0.69	0.75	0.71	0.01	0.02	0.01	0.22	0.29	0.25	
“鋭 い”	実 数	0	2	2	2	0	2	13	15	28	1	1	2	
	抽出頻度		0.04	0.01	0.02		0.01	0.14	0.26	0.19	0.01	0.02	0.01	
“厳 かな”	実 数	0	2	2	0	0	0	76	38	114	0	0	0	
	抽出頻度		0.04	0.01				0.84	0.67	0.78				
“さりげない”	実 数	13	10	23	1	1	2	0	0	0	18	5	23	
	抽出頻度	0.14	0.18	0.15	0.01	0.02	0.01				0.2	0.09	0.16	
“寂 しい”	実 数	2	3	5	0	1	1	0	2	2	0	0	0	
	抽出頻度	0.02	0.05	0.03		0.02			0.04	0.01				
“流れるような”	実 数	3	2	5	1	0	1	0	1	1	0	1	1	
	抽出頻度	0.03	0.04	0.03	0.01		0.01		0.02	0.01		0.02	0.01	
“楽 しい”	実 数	33	20	53	25	12	37	0	0	0	51	33	84	
	抽出頻度	0.36	0.35	0.36	0.27	0.21	0.25				0.57	0.58	0.57	
作品の質を引き出した舞踊の表現・伝達の要素	1	実 数 抽出頻度	表情46 0.50	動き24 0.41	表情64 0.43	構成32 0.34	動き19 0.33	構成48 0.32	曲 27 0.30	曲 18 0.31	曲 45 0.38	構成37 0.40	動き22 0.36	構成56 0.36
	2	実 数 抽出頻度	動き28 0.30	表情18 0.31	動き52 0.35	動き23 0.25	構成16 0.28	動き42 0.28	動き21 0.23	動き 照明 10	動き31 0.21	動き28 0.30	表情19 0.31	動き50 0.32
	3	実 数 抽出頻度	構成 6 0.07	構成 7 0.12	構成13 0.09	衣装17 0.18	衣装10 0.18	衣装27 0.18	照明20 0.22		照明30 0.20	衣装テーマ 8.09	表情 6 0.10	テーマ 14 0.09
作品の評価文にみられる 作品の質を示す情調語		滑稽な12 楽しい 9 生命感あふれる 3 速い 3 ダイナミック 3 元気な 3			軽快な10 生き生きとした 5 テンポが速い 4 リズムカルな 3 躍動的 3 若々しい 3			重々しい 3 力強い 2 どろどろした 2 神聖な 美しい 冷たい			楽しい10 コミカル 5 若々しい 5 身近な 5 明るい 4			

⑤ ひとりが歩く (n=150)			⑥ Innovation-自己革新 (n=149)			⑦ 奔流 (n=146)			⑧ 熱帯 (n=146)			⑨ 大和蜘蛛蝶 (n=148)		
W n=91	H n=59	Total	W n=91	H n=58	Total	W n=88	H n=58	Total	W n=90	H n=56	Total	W n=91	H n=57	Total
0	0	0	31	15	46	9	7	16	51	21	72	5	3	8
			0.34	0.26	0.31	0.10	0.12	0.11	0.57	0.38	0.49	0.05	0.05	0.05
10	7	17	10	7	17	20	23	43	13	10	23	8	8	16
0.11	0.12	0.11	0.11	0.12	0.11	0.23	0.40	0.29	0.14	0.18	0.19	0.09	0.14	0.11
8	8	16	14	6	20	0	3	3	13	16	29	67	37	104
0.09	0.14	0.11	0.15	0.10	0.13		0.05	0.02	0.14	0.29	0.20	0.73	0.65	0.70
1	1	2	15	14	29	0	0	0	5	1	6	0	0	0
0.01	0.12	0.01	0.16	0.24	0.19				0.06	0.02	0.04			
57	35	92	0	0	0	0	1	1	2	2	4	10	7	17
0.63	0.59	0.61					0.02	0.01	0.02	0.04	0.03	0.11	0.12	0.11
15	8	23	15	8	23	59	24	83	2	4	6	1	1	2
0.16	0.14	0.15	0.16	0.14	0.15	0.67	0.41	0.57	0.02	0.07	0.04	0.01	0.02	0.01
0	0	0	6	8	14	0	0	0	4	3	7	0	1	1
			0.07	0.14	0.09				0.04	0.05	0.05		0.02	0.01
衣装59	衣装42	衣装101	曲 31	曲 16	曲 47	動き45	動き32	動き77	曲 45	曲 28	曲 73	動き37	曲 構成	動き48
0.66	0.71	0.68	0.33	0.28	0.31	0.48	0.56	0.51	0.48	0.47	0.48	0.39	14	0.32
動き19	動き 9	動き28	動き20	動き14	動き34	衣装19	衣装 9	衣装28	衣装17	動き 9	衣装 動き	曲 17	0.23	曲 31
0.21	0.15	0.19	0.22	0.25	0.23	0.20	0.16	0.19	0.18	0.15	25	0.18		0.20
テーマ 4	テーマ構成 3.05	テーマ 7 0.05	表情18	表情テーマ 8/0.14	表情26 0.17	構成11	構成 8	構成19 0.13	動き16	構成・衣装 8/0.14	0.16	構成16	動き11	構成30 0.20
0.04			0.19			0.12	0.14	0.13	0.17			0.17	0.18	
おもしろい 3 奇妙な 3 柔らかい 3 か弱い 2 寂しい 2 暗い			日常的な 4 生き生きとした 3 キレイのよい 3 エネルギッシュな 3 明るい 2 神聖な			流れるような 9 美しい 5 やわらかい 3 シャープ 2 生き生きとした 2 勢いのある 2			鮮やかな15 力強い 8 エネルギッシュ 7 かわいらしい 6 むっとした 6 鋭い 5 奇妙な 5			張り詰めた 重厚な ゆっくり 流れる		